

施策

01

基本方向 01 安心・安全でいきいきした暮らしづくり | 基本政策 01 保険・医療の充実

保健の充実

施策ページのイメージ①

記載内容はイメージ（骨子案にて提示）



めざす姿

市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組み、生涯を通じて健康でいきいきと暮らしているまち

オーガニックなまちづくりに向けた取組

市民ができること



- がん検診や特定健康診査など各種検（健）診を積極的に受けます
- バランスの良い食事、十分な休養、適度な運動などを習慣付ける。

事業者ができること



- 従業員の心身の健康に配慮した職場環境づくりを進める。
- 行政と連携し、健診の受診促進や健康づくりイベント等を通じて、地域全体の健康増進に貢献する。

現状と課題

- 令和7年度の高齢化率は27.7%と県平均（27.6%）を上回る状況です。また、本市の令和6年度における平均自立期間（健康寿命）は全国平均を下回っています。これらの状況から、健康の維持増進を図るとともに、医療費の抑制を進めていくことが重要な課題です。
- 本市の死因の半数以上はがん、心疾患、脳血管疾患などの「生活習慣病」が占めています。
- 肥満は生活習慣病の発症に密接に関連しており、若年世代から増加しているため、ライフステージごとの特性・課題を把握し、各段階に応じた生活習慣の形成・改善に取り組む必要があります。
- がん検診の受診率は県内でも非常に低い状況にあります。このため、がんの早期発見・早期治療につなげるため、受診率の向上に向けた取組が必要です。
- 健康アプリ「らづFit」の登録者数は12,339人、体組成計「らづBody」の年間利用件数は11,340件と、ともに増加傾向にありますが、市民の主体的な健康管理の定着に向けて、更なる推進が必要です。
- 市民の感染症予防のため、日頃からの健康増進、感染症やワクチンに関する知識の普及啓発、各種ワクチン接種率の向上や新たな感染症発生時に迅速に対応できる体制の構築が必要です。

健康寿命

（平均自立期間）

男性 78.8 歳

女性 83.5 歳

（令和6年度）

全国平均（男性 79.7 歳、女性 84 歳）を下回る

出典：国保データベースシステム

市民の声



「らづFit」で歩く習慣ができました。これからの楽しい企画を期待します。



「らづBody」を使って筋肉量の低下に気づき、良い結果を出したという思いから生活改善を心がけるようになりました。



健診、保健指導を受けて、生活習慣に対して関心が高まった気がします。

関連する個別計画

健康きさらづ 21 / 木更津市食育推進計画 / 木更津市国民健康保険保健事業計画（データヘルス計画） / 木更津市自殺対策計画 / 木更津市新型インフルエンザ等対策行動計画 / 木更津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 / 木更津市DX推進計画

主な取組（施策）

01-1

健康づくりの推進……………【健康推進課】



- 妊娠期から乳幼児期における健康的な生活習慣の形成・定着に向け、「早寝早起き朝ごはん」の普及啓発を推進します。
- 基本的な生活習慣の確立に向け、健康を自己管理できる環境づくりを推進します。
- 健康教育を実施することで、市民の健康リテラシーの向上に取組みます。
- 高齢者の健康状態の維持・改善を通じて、フレイル予防の推進を図ります。
- 歯科疾患予防のため、フッ化物洗口実施校数拡大に対応できる体制構築や歯科健診が受けやすい環境整備に取り組めます。
- 感染症やワクチンに関する知識の普及啓発、各種広報による予防接種率の向上、新たな感染症への対応を迅速に行います。

関連事業 ●健康アプリ「らづFit」及び体組成計「らづBody」の活用促進

アウトカム指標（成果）	現状値(R7)	目標値（R12）
肥満者の割合（若年期健康診査 BMI25 以上）	21.8%	17.5%
アウトプット指標（活動）	現状値(R7)	目標値（R12）
若年期健康診査事後保健指導率	94.9%	96.4%

01-2

生活習慣病の発症・重症化……………【保険年金課・健康推進課】



- がんの早期発見・治療のため、がんに関する知識の普及啓発やがん検診受診率向上に取り組めます。
- 各種健（検）診のインターネット予約や休日の開催等の体制を整え、市民の利便性向上に取り組めます。
- 保健指導は、面接、電話等以外にも家庭訪問やICTを活用した遠隔面接等で柔軟に対応して取り組めます。
- 各種検（健）診及び医療データを分析し、本市の健康課題を明確化し、その結果を踏まえ、データヘルス計画を推進します。
- 市民一人ひとりの健診・医療・介護のデータを組み合わせて分析し、個人の状況に合った健康指導を行います。
- 地域の医師会、専門医、歯科医師会、薬剤師会等と連携して市民の健康課題に取り組めます。

関連事業 ●がん検診事業の実施 ●若年期健康診査事業の実施
●特定健康診査、後期高齢者健康診査、短期人間ドックの実施 ●保健・栄養・歯科指導の実施

アウトカム指標（成果）	現状値(R7)	目標値（R12）
メタボリックシンドローム該当者の割合	22.6%	21.8%
アウトプット指標（活動）	現状値(R7)	目標値（R12）
特定保健指導実施率	31.6%	40%

施策11

基本方向 02 子どもを育む環境づくり | 基本政策 01 子育て支援の充実

子育て支援の充実

地域全体で子どもの成長を支え、安心して子育てできるまち

SDGsへの貢献



めざす姿

すべての子どもが健やかに育ち、安心して子育てできるまち

子育て世代の不安や負担をやわらげ、すべての子どもが健やかに育つことができる、やさしさとつながりのあるまちをめざします。



オーガニックなまちづくりに向けた取組



市民ができること

- ・ 地域の子育て支援に参加する
- ・ 子育てや環境にやさしいライフスタイルを実践する
- ・ 子どもの多様な学びや体験の機会づくりに協力する

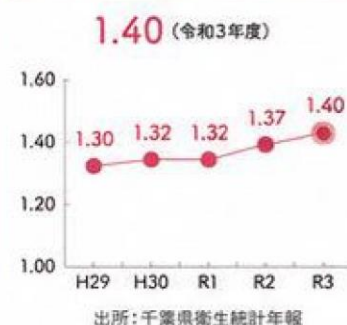


事業者ができること

- ・ 働きやすい職場環境を整える（育休取得や時短勤務など）
- ・ 子育て家庭に配慮した商品やサービスを提供する
- ・ 地域活動に参加・協力する

現状と課題

合計特殊出生率の推移



共働き世帯の割合



保育園の待機児童数



主な課題

- ・ 安心して結婚・出産・子育てができる環境整備が必要
- ・ 子育ての孤立や負担、経済的負担の軽減が必要
- ・ 保育ニーズの増加に対する人材確保・質の向上が必要
- ・ 児童虐待やDVなどへの相談・支援体制の強化が必要
- ・ 子どもの発達や特性に応じた支援の充実が必要

市民の声



子どもの預け先が見つからず、仕事と子育ての両立が大変です…



子育て支援の情報がわかりやすく、相談もしやすいので安心して子育てできています。



地域の子育てイベントに参加して、親子ともに友だちが増えました！

主な取組（施策）

11-1

結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

【子育て支援課・健康推進課・こども保育課・市民課】



相談支援や経済的支援を一体的に実施し、産後ケアや子育てアプリによる情報発信を行います。

アウトプット指標（活動）

- ・ 子育て支援サービスの利用件数 45万件 ▶ 60万件
- ・ 子育てアプリの登録者数（累計） — ▶ 4,800人

アウトカム指標（成果）

- ・ 子育て支援サービスに満足している市民の割合 65% ▶ 80%
- ・ 妊娠・出産に不安を感じる妊婦の割合 30% ▶ 20%

11-2

保育・幼児教育の充実

【こども保育課】



多様な保育サービスの充実や保育士の確保、施設整備を進め、質の高い保育・幼児教育を推進します。

アウトプット指標（活動）

- ・ 保育士確保に向けた支援件数（累計） 8件 ▶ 12件
- ・ 放課後児童クラブの待機児童数 6人 ▶ 0人
- ・ 施設整備・改修を行った保育施設数（累計） — ▶ 5か所

アウトカム指標（成果）

- ・ 負担軽減を実感する人の割合 45% ▶ 70%
- ・ 保育・幼児教育の質に満足している保護者の割合 60% ▶ 80%

11-3

子育て家庭への支援の充実

【子育て支援課・学校給食課】



経済的支援や各種サポートの充実により、子育て世帯を支えます。

アウトプット指標（活動）

- ・ 児童手当の受給者数（年度末時点） 33,000人 ▶ 35,000人
- ・ 小中学校給食費無償化対象者数（第3子以降） 2,000人 ▶ 3,000人
- ・ ファミリーサポートセンター利用件数 1,200件 ▶ 2,000件

アウトカム指標（成果）

- ・ 相談満足度 70% ▶ 85%
- ・ 経済的負担が軽減されたと感じる世帯の割合 50% ▶ 75%

11-4

児童虐待・DV等の予防及び対策

【子育て支援課】



相談体制を強化し、関係機関と連携して迅速な支援を行います。

アウトプット指標（活動）

- ・ 児童虐待相談対応件数 320件 ▶ 500件
- ・ DV被害者への支援件数 120件 ▶ 180件
- ・ 啓発講座・研修の実施回数 6回 ▶ 12回

アウトカム指標（成果）

- ・ 地域の支えを感じる人の割合 50% ▶ 75%
- ・ 児童虐待の再発防止率 85% ▶ 95%

11-5

子どもの発達支援の充実

【こども発達支援課】



子どもの特性に応じた支援や、保護者への情報提供・相談を行います。

アウトプット指標（活動）

- ・ 発達相談件数 2,500件 ▶ 3,500件
- ・ 教室・研修等の実施回数 15回 ▶ 24回
- ・ 関係機関連携会議の実施回数 4回 ▶ 8回

アウトカム指標（成果）

- ・ 発達支援に満足している保護者の割合 55% ▶ 80%
- ・ 早期支援につながった子どもの割合 60% ▶ 80%

※指標の基準年や目標年は計画策定時点のものです。